




| | | | | | | |
|--------|--|--|-----|---------|-----|--|
| 決 裁 | 議 長 | 局 長 等 | 次 長 | リ ー ダ ー | 担 当 | 合 議 |
| |  |  | | | |  |

様式第6号 (第8条関係)

令和 6 年 3 月 28 日

養父市議会議長 様

養父市議会議員 川瀬 稔

政務活動概要報告書

政務活動の概要を下記のとおり報告します。

記

- 1 活動月日 令和6年2月4日
- 2 活動場所 全国町村会館2階ホール
- 3 活動者氏名 川瀬 稔
- 4 活動内容 「政策サイクル推進地方フォーラム」公開セミナー
ミライの議員・議会のために
～住民福祉の向上と地方議会の政策サイクル～ 受講
13:40~14:30 講演「ミライ展望した地方議会の政策サイクル」 昭
講師：大正大学社会共生学部教授 江藤 俊昭氏
14:35~15:25 講演「コミュニティ自治とミライの議会」
講師：東京都立大学法学部教授：大杉 寛 氏
15:25~16:15 実践報告「議会は住民自治のプラットフォーム」
講師：兵庫県西脇市議会議員・前議長 林晴信氏
16:25~17:25 パネルディスカッション
ミライの議会・議員のために
イマの議会・議員に求められるもの
パネリスト 江藤俊昭氏 大杉寛氏 林晴信氏
コーディネーター 千葉 茂明氏
- 5 活動成果 別紙添付(1/3~3/3)



議会報告会を「議会と語るう会」に名称変更し、従来の
対面式議会報告会からワークショップ形式へと変更
することにより、対面は、対立を生み、車座は仲間意
識が生じる。議会報告会は、政策のタネの宝庫。

議会報告会とは、終わったことの報告ではない。
議決過程の説明することで住民とコミュニケーションし、そ
して未来へつなげることである。

議会報告を止めてしまう理由

①参加者の顔ぶれが同じ。参加者が少ない、年齢層
の偏り⇒参加者を待っただけから、ターゲット層が居
る場所に出かける。

②議員の文句を言いに来る人が多し(行政人の文句
含め)⇒対面式からワークショップ形式への転換

③政策提案ではなく、要望やクレームばかりの意見⇒
⇒ あたりまえ!

要望やクレーム雑談からでも課題を抽出するのが
議員の仕事!。要望やクレームの背景を考えるこ
とが大事。

・課題懇談会⇒市内で活動する団体と委員会が一緒
になってテーマに沿って懇談する場。

テーマは自由設定ですが、①市議会に関すること。
②市政に関すること③その他の重要事項に関する
ことと限定。

。市民との意見交換会

議会報告会に行くのも億劫だし、課題懇談会と
いうほどじゃないし、市民団体というわけでもない
し、でも話を聞いてほしい！、議会も話を聞きたい！
という声に対応する。

。議長室茶話会 ⇒ こんな話を聞いてほしい、市
政について聞きたいと、議会事務局に申し
入れてもらえば対応。

。課題と政策

課題は政策のネジから考える。

「議会と語るう会」や「課題懇談会」から多くの要望
や意見を聞いている。

個人要望を叶えるだけでは「部分最適」

「全体最適」を考えて初めて「政策のネジ」が
「課題」となり、解決策が「政策」となる。

議会報告会や意見交換など「機関」として
住民意見を聴くことのホントの効力用

。共有

個人ではなく議会として意見を聴くことで
他の議員もそういう問題や課題があることを
認識している。

。共感

委員会等で何かの問題が出たとき、
「そういえばあの時の議会でも参加者が言っていたな、
いちどみんなで検討してみる」という機運が醸成。

。共創

対話によって意見集約し、課題解決策を練り上
げ、政策提案していく。

以上兵庫県西脇市議会の地道な議会改革
の実践を参考に、

「議会は市民の中にある」を意識して議員
活動を進んでいきたい。